田代時報
第18号
発行所　田代村公民館
電話2番の乙
発行責任者　湯ノ谷米吉
編集責任者　小川兵一
印刷所　鹿屋市曽田町6647
南日本新聞社東部支社
電話88・98・126番

縣音樂會出場を終えて

田代小学校長　江口芳夫

去る一月十四日、鹿児島市中央公民館に於ける縣教育文化祭大音樂会に肝属郡代表の内の一校として出場いたしますについては、村当局、教育委員会、PTA、並に出場児童の御父兄の皆様方より、物的に、精神的に絶大なる御援助を受けまして、こゝに無事任務を終え、立派な成績で帰つて來ることの出來ましたことを非常に有難く厚く御礼申しあげます。

既に御承知の事と存じますが縣教育文化祭は縣教育委員会、縣教育組合主催のもとに縣一円を主体として、毎年一回行われます教育行事で私達現場に居ますものにとつては一つの大きな研修の場でもあります。文化祭は例年三日間にわたつて行われていますが、音樂会は第三日目になります。本年も第三日目即ち一四日に行われたのであります。而してこの音樂会出場については、單に学校の希望に従うというのではなくて、最初市郡に於て希望校の予選を致します。その結果優秀な学校を数校推薦して出場させるという仕組になつているわけであります。肝属郡の場合は地域の関係から郡の予選音樂会は二ケ所でおこなわれました。即ち西部地区は神山小学校で去年十二月九日に、一、二、三部は鹿屋小学校で六日に行われました。この両方の結果を持ちよりして審査委員会で色々審議され、決定されたのであります。本年度の出場校は小学校側は串良小、百引小、田代小の合唱と池ノ原小の独唱の四校で、中学校側は高隈中吾平中の二校、計六校になつています。

田代は地理的に鹿児島市より遠い所にあり而も交通も自動車、船等便用せねばならない関係と、又一方出場の児童（四、五年女子）の中にはまだ鹿児島市に出る児童もありましたので、途中の健康状態のことを考えて、一三日出発、生徒と朝は雨天で児童も困ったことは思いますが、先生方や多数の父兄の見送りを受けて六時四〇分田代発、幸に大根占につく頃より雨も上り、ホツとした気持になりました。大根占より垂水までは臨時バス便用、本校生徒のみの貸切みたような恰好で至員腰をかけ、樂な気持のドライヴ。

九時三〇分、垂水発、鰹のような海上を走り、鹿児島着。

早速旅館へ行き休憩、中食の後練習のため中央公民館に行く。しかし、こゝでは第二日目の行事がまだ終つていないので練習が出來ませんでしたので、近くの山下小学校に行き校長に面接依頼いたしました所、心よく貸していただけたのでこゝで一応の練習をなす。

練習終了後児童の緊張した心をほぐすため、又市の気分になれさせるために鴨池動物園に行き、夕刻旅館に帰る。

十四日、いよいよ音樂会の日である。教師児童共に多休みを返上して猛練習して見れたその結果が僅か数分間によつて決められる日である。児童がアガラズに平生学校の講堂で練習していた時のような樂な気持で歌つてくれるようにと心に念じつゝ旅館を出る。

音樂会は全体で七〇番まで、本校は三十九番で大体一時頃になるだろうと予測していたのでありますが、稍進行が遅れ二時になつてしまつた。あの大きな建物も階上階下共に聽衆で一杯である。大部分が先生方や交通便利な所より出て來られた父兄等大人である。演奏中は実に静かに聽きいつていられる。自分の学校の出番が近づくにつれ緊張感がひし〳〵と胸に迫つて來る。出る態度は歌は帰る態度は、はじめて立つ舞台でまこつきはしないだろうか、気おくれはしないだろうか、歌の上手、下手はどうでもよい、かねて学校で練習した通り、児童の持つ力の最善を発揮してくれたらそれでよいのだが等……いよ〳〵出番二回目に歌は二つとも歌つてよいとの則報に接す。

いよ〳〵出番、立つても居てもいられないような緊心をじつとおさえ児童をみつめる、聞きいる。

出方、かへり方、歌う態度、歌そのもの、実に立派である。いままで出場したどの学校にもまけないように立派である。はじめて出る機会、はじめて立つ舞台であつても、先生方と充分に練習し、又壇の指導主事の二日間の指導によつて充分に自信をもつていてくれたのである。有難かつた、涙の出る程うれしかつた。歌い終えて帰つて來た児童に心から『御苦労、よく出來たね』という私でした。時二時五分過ぎ。自分の道具を取り残りの時間を善用すべく公民館を出たのが二時三〇分、サーカスの見学をし五時半旅館に帰る。子供達にも心配があつたのでしょう昨夜は余り騒がなかつた児童もほつとした気持で大変な賑かさ。

翌十五日、山形屋、その他を見学し十二時三〇分鹿児島発、垂水より田代まで臨時のバスを利用、午後四時田代着、出迎への父兄の歓待を受け全員解散したのが丁度五時。

ものを打算的に考えるならば、僅か二種目の歌を歌うのに何万円だと騒く考えさせられた。

丁度昨年の秋だつた。炭焼の親父に、『御前も木炭と成り、世の人の爲に成らぬか』との事、我輩如き物でも世の人に喜ばれるならばと心好く引受る事にした。それから東切にされて窯庭に参上したのである。來て見て先ず驚いた事は窯は今時はやりの蕃屋式とやらで甲も余り高くない。窯上や炭小屋も良く掃除されて居る。いよ〳〵窯入りしてから乾燥と相成つたがこの乾燥が六日間、実に気持好いまるで夢でも見て居る様に静かに乾燥されて行つた。六日目完全乾燥され着火したが、着火してからも、我輩の一番苦手な二度火をやらかさない様に、もらし口から十四、五時間、補助焚なる物を仕てくれた。そして帯火と成らぬ様、又強い風が当らぬ様十分注意して除々に炭化して行く様にしてもらい、我輩も安心して炭と成つて行つたのである。

又それから七日経つた時には、我輩も我乍らこんなに真赤に成るのかと思われた。親父は煙道口に温度計なる物をあてゝ居る。『もう三六〇度だ、どうれ止めようか』等と一人言を言い乍ら窯の中に空気が入らぬ様念入に消火した。

それから五日、いよ〳〵我輩も炭として再び世の中に出て参つたのである。近所の窯の親父等も、炭出しだ、と言うので加勢に來て居たが、皆驚いて『こら良か炭が出やしたが、どげんして燒やしたな』と言う。内の親父は『まあそいなあ煙草どん吸う万御互良か炭を出すごつ研究しもそや』と言い乍ら話し出した。

此前ん講習会い、あたいも行つたが、一番こら、こげんせんないかんつ思つた事は、床入ごとに『御苦労』と言う真大な費用を費し、ほんとに馬鹿なことだとも思われる。しかし教育的に考えるならば此の度の出場は巨万の富みにもかえられない効果をもたらしたと自負する。あの真剣さ、あの引きしまつた空気、そして私達もやれば出來るのだ、土地は田舎であつても決して都会の人々には負けない。唯負けはしないかと心配するのは努力の不足より來る自信の欠乏によるのだと覺く考えさせられた。

このことは單に音樂教育のみでなく、すべての面についても同様にいゝうることゝと思う。

大いにやろう、今度の機会をよい契機とし、あらゆる面に!! 児童の幸福のために!! そして、より一段高い教育効果を念願して努力精進したい。

色々御援助いただいた方々に今一度感謝のことばを申しあげ、報告にかえさせていたゞきます。

植林に御協力を!!

縣に委託していました施業案も成立し愈々実施の第一歩を踏出す事になりました。

施業案の内容につきましては後日説明する事と致しますが差当り実施しなければならない当面の問題につき皆様方の絶大なる御協力をお願いするものであります。

村有林は従來の分と今回払下ました分と合して四七二町歩ありその内山林として経営する面積は四三五町歩、その他は採草地、農耕地、道路、河川等となつています。この四三五町歩の内二九年度迄（三十年三月）に三八町歩、残りは二九年度植林する計画となつています。

山林は植付後少くとも五ケ年間は手入を要しますので二九年度迄一〇一町歩、その後毎年約三〇町歩を新植するとすれば五年後の三四年度には二五一町歩の植付及手入をしなければならない事となります。一口に二五〇町と云いましてもこの手入は相当の労力と多額の経費を要することは当然であり乾燥さも、並々ならぬ苦労と努力を要するものと覚悟致して居る次第であります。

只今は道路の整仕、その他色々と物的にも金銭的にも相当に無理なお願いを致していますが、今後この山林の最大の効果を発揮させる爲には尚一層の無理をお願いしなければならないと思います。

終戦後の財政多難の今日まで当村は山のお蔭で学校も、道路も、産業施設も他町村以上に完備出來得たこの有難さを常に念頭に持ち差当り本月より実施される地拵、植林等については尚一層の御協力をお願いするものであります。

手車用車輪公賣公告

旧消防器具車の車輪一式（心棒付）を左記により公賣に附しますので希望者は役場厩務係宛見積書を提出下さい。

記

一、数量　二ケ（鹿、川原消防会館に現品はあります）

二、見積書提出期限

二月十五日迄

三、落札者の通知及現品引渡

最高見積者に役場より通知し、現品は現金引換に渡します。

道路占用に関するお知らせ

経済課長

道路は文明の利器であり社会の公器であつて、文化の尺度は道路の整備如何によつて測られると言われて居ります。事実私共は一歩足を運べば朝夕片時も道路の恩恵に浴しない訳には行かない。近頃田代にもバス、三輪車、トラック、自轉車、オートバイ、荷車等々それは全く目まぐるしい位走つて居る道路が整備されたお蔭である。

此の有難い道路は公衆のものでもつて公衆の負担によつて維持経営されて居ることは申すまでもない事であります。これは一部の者の利益のために使用したり或は一部の者で独占したり又は無暗に破壊したり等の行爲は許されるべきではありません。

国では道路法と言う法律を作つて道路の維持管理の方法を決め、縣も昨年十月十六日道路占用料徴収條例を制定して維持に当つて居ります。本村も昨年十二月二十四日の村議会で田代村道路占用料徴収條例を議決し本年一月一日より施行することになりました。

此の條例の目的とするところは村内の道路がいつも公衆の便益のために公平に安心して使用されまして、如く整備することでありまして、占用料を徴収することは第二段の方法であります。左に要点を記して一般の認識を深めたいと思います。

道路と言う事は路面法敷（のりしき）測溝路面上の空間等を言うこと。

占用と言ふ事は道路に工作物を設けたり、木、竹、石、荷車等を置いたり、電柱を植えたり、家の入口の板橋を掛けたりすること等を言います。

これから田代村道を占用したい人は、先ず村長に占用願書を出し併せて警察署長へも物件置場の願書を出して両方の許可がなければ占用することは出來ません。從來の様に勝手に道路側に木や石等を置くと罰則の適用を受けることにもなります。

許可を受けて占用するにしても占用料を収入役へ納入しなければなりません。これは大体平方米、月單位で計算することになつて居ります。詳しい計算は略しますがお互はもつと熱心に道路の維持経営を考え少くとも受持区域については自分の事にして日常一寸した注意も怠らない様にしたいものです。

貧弱な村の予算では年々延びる村道の維持もむづかしくなりまして一部の者の独善に置してはなりません。占用するならそれだけの責任を以て大衆に迷惑をかけない様にしていただきたいものです。

我輩は黒炭樫小丸である

我輩の身元は樫の木である

樫小丸である。

今日は都へ婿入する日だ。親父は一人息子を又二人娘を都へ婿に嫁にやる日だと言うので時々歌つて聞した。

『人間生存の大動脈』

税と経済は……

『税と経済』この問題は、われわれが生存するに密接不離の最も重要な事の一つである。この税と経済の問題を軽視しては、一家の生計も一国の存立も得て望まれず、税と経済こそ、われ〳〵日常の家庭生活に、又国家存立の大動脈と言わなければならない。然るに世の多くの人々が『税金』と言えば忽ち喜色を失い悪鬼の面相に変るとはなんとしたことであろうか？それは一つに税に対する認識の不足が原因する。その認識不足は、税吏と納税者の疎遠になり、睨みつこにもなる。税吏とても温かい血液が体内に流れている。だから不当だと思いながら、見す見す取つたが勝と言う訳で課税して、滞納だ、差押だ、公賣処分だ、と云うような無慈悲は毛頭考えていない。しかし世の中には往々にして税に泣き、首吊り、土左エ門、さては一家心中などの悲劇は珍らしくない。あれも、これも総て税吏と納税者の疎遠に基因している。納税者だつて、故意に滞納する貪欲無恥の者はいない。背負いきれない課税を言い渡されたとき、やむを得ず前記のような醜体を演ずる場合が、その殆んどすべてゝある。幸いにして近代は所得税、或は縣税には申告納税の制度があつて前述のような惨害は多少減少し

あと一息!!　2月中に完遂しよう
部落別農協出資進展表
昭和29年1月20日現在

部落名	28年度目標	実績	比率
下	46・600	53・276	114
馬場	26・600	29・123	109
東之原	21・800	22・437	102
長谷	54・000	46・106	85
西中郡	44・600	39・864	89
東中郡	33・600	25・977	77
橋之口	71・600	64・583	90
中村	41・200	43・365	105
山下	48・200	49・378	102
岩崎	61・800	64・324	104
表木	79・600	73・810	92
山之口	69・500	21・013	32
折小野	37・000	37・332	100
平石	86・200	78・035	89
柴立	66・400	46・678	70
上柴立	63・600	43・020	67
上原	70・000	56・129	86
原沢	33・800	23・769	70
池野	77・400	61・900	80
潤戸口	43・400	48・509	111
諸ケ倉	62・600	88・907	142
鳥淵	39・000	47・535	122
早瀬	65・800	67・244	99
郷ノ原	70・800	49・659	70
辺志切	76・000	80・353	105
鶴園	125・800	124・489	97
西大原	87・800	62・953	69
東大原	40・200	43・038	107
中尾	51・200	46・904	87
新田	61・400	43・442	65
内之牧	67・800	32・751	34
官行	9・200	4・933	53
宮田	17・800	13・724	77
鶴戸野	28・200	20・264	71
久木野	25・800	28・257	109
鰐山	34・200	35・841	104
計	1,940・500	1,718・902	87

養蚕で収入を計りましよう

田代時報十六号に〝桑を植えましよう〟と出て居ました。

次に、養蚕で収入を計りましよう。私達農村に住む者は大小にかゝわらず農業を主として生活して來て居ります。

終戦直後は食う事のみに追われ全く行きづまつてしまいました。そして当村の養蚕も見とおしが出來なかつたのに、今では絹糸価格安定法にしたがいまして、安心して女子供で、農家事の合間で月ならずしていくらかの金に返つて來ます。先ず始めの内一、二年は多くを取る事は出來ないにしても、新植桑園一反歩なら二年目は相当な収入が得られます。そして始めて働き出した楽しさを味い、次には生活用品も購入出來、又知らずの内に貯金にもは入つて來ます。こうして行きます内に、おもつついた養蚕が出來て來ます。私達は常に不自由な物であります。それを三回の養蚕で工夫しなければなりません。一年間の養蚕期では、一番晩秋蚕が収入を得られます。他にあらゆる収入もありましようが、家事の合間、朝夕の仕事に工夫して生み出した金程、働く者の幸福を感じます。

国際情勢の多難な時、前途尚復雑な社会に生きる爲には、婦人の皆様方が共々に国家の一員となつて商業に望みたいものです。

馬場部落一婦人

一、炭が出た〳〵炭が出た
田代山から炭が出た
余り硬度が高いので
都の奥さん嬉しかろ
二、炭が出た〳〵炭が出た
私しや婿どんにやる気持
都の嫁さんこの婿を
可愛がつて丁戴たのみます
三、こゝは田代の山の中
煙立ちますこゝかしこ
皆さん元気で増産に
木炭田代の名を上げましよ

（節はタンコー節に同）

我輩は馬車に搭られ乍らこの歌を親父の見送の歌として聞ながら勇んで婿入したのである。

節賀亮

今年の納税は

計画納税―貯蓄増強

一、納税計画を立てましよう。村税の納期日と各人の年間税額は、婦人懇談会であらかじめ通知して置きました。毎月分の納税計画を立て、準備をし、きちんと期日に納めましよう。

二、納税貯金を目標通りいたしましよう。自分の税金と考え合わせて、準備貯金の計画を立て、目標通り積み立てゝ、切符が來たとき、貯金で期日に納めましよう。

知らぬ間に納税貯金で税がすみ

三、準備貯金を増強確保しましよう。豊作が二ケ年続きましたが、天災は何時來るかわかりません。この際税金の一ケ年分以上を別途に残すよう、準備貯金を増強確保いたしましよう。

轉ばぬさきの杖　重荷をかるく納税貯金

村民税納期一覧表

月別	税目	納期
四月	固定資産税	一期
五月	村民税	一期
六月	犬税、自轉車税	―
七月	―	―
八月	荷車税	―
九月	村民税	二期
九月	固定資産税	二期
十月	固定資産税	二期
十一月	村民税	三期
十二月	固定資産税	三期
一月	村民税	四期
二月	固定資産税	四期
三月	―	―

納税成績表

二十八年度綜合成績（現年過年共）

部落名	納税	%
下馬場	一〇〇	九九、五
中村	一〇〇	九七、四
表木	一〇〇	九一、七
折小野	一〇〇	九〇、二
東大原	一〇〇	八九、九
鶴戸野	一〇〇	九九、二
舞山	一〇〇	八八、〇
猪鹿倉	一〇〇	八四、七
鳥淵	一〇〇	八〇、五
辺志切	一〇〇	九九、五
瀬戸口	一〇〇	九七、四
橋ノ口	一〇〇	九一、七
西大原	一〇〇	九〇、二
早瀬	一〇〇	八九、九
原沢	一〇〇	九九、二
東中郡	一〇〇	八八、二
長谷	一〇〇	八八、〇
鶴園	一〇〇	八四、七
山下	一〇〇	八〇、五
柴立	一〇〇	七九、九
新田	一〇〇	七八、六
岩崎	一〇〇	七八、五
官行山	一〇〇	七八、三
東ノ原	一〇〇	七七、七
山ノ口	一〇〇	七六、七
郷ノ原	一〇〇	七六、四
池野	一〇〇	七四、六
平石	一〇〇	七三、七
西中郡	一〇〇	七三、二
中尾	一〇〇	七〇、七
久木野	一〇〇	六九、三
内ノ牧	一〇〇	六三、三
宮田	一〇〇	五七、八
上柴立	一〇〇	五四、二
上原	一〇〇	八〇、五
平均	一〇〇	九四、四
鶴園	一〇〇	九一、七
池野	一〇〇	八七、二
辺志切	一〇〇	八五、四
山ノ口	一〇〇	八五、二
久木野	一〇〇	八四、一
平石	一〇〇	七八、五
柴立	一〇〇	七二、二
新田	一〇〇	六一、八
上柴立	一〇〇	五四、四
上原	一〇〇	三七、二
中尾	一〇〇	三六、八
内ノ牧	一〇〇	九〇、三
平均	一〇〇	九五、二

二十八年度固定資産税第三期分納付成績（二月納）

部落名	納税	%
下馬場	一〇〇	九九、八
長谷	一〇〇	九九、六
東中郡	一〇〇	九六、七
橋ノ口	一〇〇	九五、二
中村	一〇〇	
山下	一〇〇	
岩崎	一〇〇	
表木	一〇〇	
折小野	一〇〇	
東大原	一〇〇	
官行山	一〇〇	
鶴戸野	一〇〇	
舞山	一〇〇	
原沢	一〇〇	
瀬戸口	一〇〇	
猪鹿倉	一〇〇	
鳥淵	一〇〇	
郷ノ原	一〇〇	
西大原	一〇〇	
西中郡	一〇〇	
早瀬	一〇〇	
東ノ原	一〇〇	

感冒に御用心

暮の朝　馬八の字に　息を吹き

感冒に御用心と前にも書きましたが、急に寒さがひどくなり商賣柄又おかぜの御用意は宜しいですかと申上げたい処です。

今年の干支は馬です、歳はうまでも仲々うまい事はなさ相です。殊に病気に馬の字がつきますと、奔馬性と申して、経過の早い悪性のものを云うのですから医学に於ける限り馬歳は大いに警戒を要する廻り年です。

さも感冒と申しますと昔から『感冒は万病の基』と恐れられて居る様に種々の病気が感冒の様な症候で起つて参ります。其の中で最も多い油断のならないものは結核です。即ち結核の始めが感冒の様な症候で起つてきます。

我々の申す感冒というのは先ず普通、上気道即ち鼻とか咽喉、気管の炎症を云つて居ます。それから奥の気管枝が侵された時が肺炎です。だから厳密に医学的に云えば感冒の中には鼻（鼻カタル）咽頭炎、喉頭炎、気管炎等があるわけです。

気管が左右の気管に分れ、其の気管枝が更に段々と枝が延びる様に細く分れて毛細気管枝となり、遂に最後に肺胞となる。この最後の肺胞が炎症を起した場合が肺炎である。

❶鼻カタル　鼻汁がよく出て鼻が塞る。赤ちやんでゐると鼻が塞つてお乳が十分に飲めない。口を開いて口で呼吸して居る。

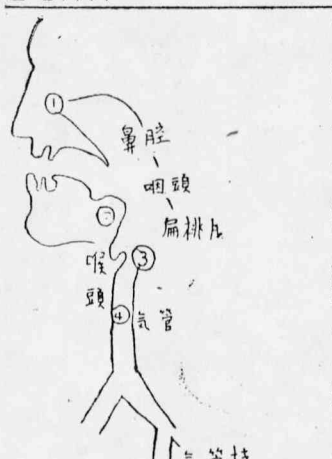
❷咽頭カタル　扁桃腺炎、咽頭が痛み殊に物を食べる時に痛い。咳も出る。熱も出る。幼稚園や小学校に通い始める頃の年齢の幼児の時には扁桃腺が生理的に大きいものでこの扁桃腺が侵されて赤く大きくはれて來る。扁桃腺炎或はアンギーナと呼んで居ます。

❸喉頭炎　犬吠性（犬の遠吼の様）の咳嗽が出て一寸ヂフテリアに似た症候がある。声も潰れてくる。

❹気管炎　咳が出て時々のどがセーゼーと云う。

以上の辺までを俗に感冒と呼んで居るのです。

感冒の予防ですが、昔から云われて居る様に皮膚を丈夫にする事はどんな事かと申しますと、外が寒い時には体温を奪われ易いですからこんな時には皮膚の血管が收縮し、反対に体内の内臓の血管が拡大して身体の表面に流れて居る血液を体内に移動し、体温を奪われない様にするのです。暑い時はこの反対の作用が行われるもので、これは血管神経の作用が営まれるのです。この作用が適格にテキハキと出來る人は感冒を引かないのでこの神経の感の悪い人が感冒を引き易いのです。其処でこの感をよくするには毎日の練習が必要です。野球や種々の運動競技に練習が必要なのと同じ事です。いつもお乳を飲ませる事が大切な事です。



（図で了解して下さい）

経済課二ニュース

一、経済自立化運動優良小組合表彰のため、縣の調査が近く開始されます。資料を準備して下さい。

二、縣では麦作共進会を開催します。奮つて出品して下さい。

三、本年は本村でも水稲の早期栽培を長谷の前之園敬二さんが試験的にやられます。準備に取かゝつて居ります。

四、畑地農業改良促進法に基く指定申請書を作製中です。

五、耕土培養計画を考えて、本年は当村にも取入れたく申請中です。

六、縣では農村工業副業振興展示会を開催します。奮つて出品して下さい（二月二十六日から）

七、政府は海外移民を募集して居る。

外気を皮膚にあて、刺戟し皮膚の血管神経の感をよくする外気浴、人工的に皮膚を摩擦して感をよくする乾布摩擦等が有効なわけです外気浴の時は大抵日光浴も一緒に出來るのですから顔色もよくなり血液も増え身体全体が丈夫になります。厚着の時は外気が十分に皮膚にふれません。出來るだけ薄着をさせて戸外で遊ばす事が肝要です。又ささいな事ではありますがいろいろのそばにねかせておき年後からは姉ちやんが学校から帰つてきたのでおんぶする。其のときなども急に外気にあたり冷えるためかぜをひくどうきになります。さらにお湯等にいれた時は速によくふいてから着せるように心がける事です。

子供は風の子、天の子、地の子風に親しみ天に親しみ地に親しんでこそ始めて丈夫なる子供が出來るのです。

大切な皆様の子供さんを程よくきたえて、千里を走る駿馬に育てましよう。

新生活運動の結果は

どうであつたか？

本村では新生活運動の一環として、皆様方の御協力を得て年末年始の簡素化運動を展開したのでありますが、其の結果はどうであつたかを婦人会員五九八名に対し調査しました所、其の結果は次の通りでありました。

要望事項

（町、村、郡、或は新生活運動についてなら、なんでも）

イ、七五祝、結婚式、家建祝等がだん〳〵派手になる様だが、もつと簡素化してもらいたい。

ロ、正月の進物は親だけにとゞめ他は廃止してもらいたい。

ハ、親類が一ケ所に集つて年始会をする様にしたらもつと簡素化されると思う。

ニ、正月一般年始客は名刺だけですませる様にしたらもつと簡素化されると思う。

ホ、正月十五日のモチつきを廃止してもらいたい。

（公民館）

新生活運動調査統計表

二十九年一月調査（調査人員五九八名の内回答者四四七名（七五%））

調査事項	回答者数（名）	比率%
❶国旗はだした	四二一	九四
ださない	二六	六
❷正月は家族本位のたのしい正月だつた	三四八	七八
お客が多くてわづらわしかつた	八四	一九
私も（主婦）ゆつくりできた	三〇六	六八
できなかつた	九八	二二
回答なし	五	一
❸飲酒時間九時唱迄	四二二	九四
十時唱迄	二五	六
❹拍子木で合図した	七五	一七
合図しない	三六八	八二
其の他（お茶、スピカー）で合図した	四	一
❺正月料理二品	三三〇	七四
三品	一〇九	二四
四品	八	二
五品以上	なし	なし
❻十日間の衣食調査		
（イ）燗酎（酒）一升以下	一〇一	二三
一升以上二升迄	一三〇	二九
二〇一	一〇一	二三
三一四	四三	九
四一五	四一	九
五一六	一七	四
六升以上	一四	三
（ロ）店から買つた御馳走		
一、〇〇〇円以下	二五七	五八
一、〇〇〇円以上二、〇〇〇円迄	一一四	二五
二、〇〇〇　一三、〇〇〇	三四	八
三、〇〇〇　一四、〇〇〇	一一	二
四、〇〇〇　一五、〇〇〇	六	一、四
五、〇〇〇　一六、〇〇〇	一	〇、二
六、〇〇〇　一七、〇〇〇	一	〇、二
七、〇〇〇　一八、〇〇〇	なし	なし
八、〇〇〇　一九、〇〇〇	なし	なし
九、〇〇〇　一一〇、〇〇〇	一	〇、二
回答なし	二二	五
（八）正月準備衣類購入費		
一、〇〇〇円以下	三七	九
一、〇〇〇円以上二、〇〇〇円迄	五七	一三
二、〇〇〇　一三、〇〇〇	五六	一三
三、〇〇〇　一四、〇〇〇	三一	七
四、〇〇〇　一五、〇〇〇	八四	一九
五、〇〇〇　一六、〇〇〇	一一	七
六、〇〇〇　一七、〇〇〇	一四	三
七、〇〇〇　一八、〇〇〇	一一	五
八、〇〇〇　一九、〇〇〇	一〇	二
九、〇〇〇　一一〇、〇〇〇	二〇	四
一〇、〇〇〇円以上	五九	一三
回答なし	二二	五
❼昨年に比しかんそだつた	三八二	八五
はでだつた	五二	一二
昨年通りだつた	四	一

簡單なしもやけの療法

あついお湯にしもやけのしている部位を浸しよくふきとり、ヨードチンキを塗ればよいです。一日にこれを度々くりかえす。

荒れた國土を線のくすで!!

しよう脳事業は我国独特の産業であり、重要な輸出産業の一つであります。本事業の存続を計るため専賣公社では直営造林の他、毎年くす苗木を無償で各家庭に配付し造林奨励につとめて居りますが、今年も苗木の準備が出來ましたので御希望の方は早目に専賣公社根占出張所又は森林組合に御申込下さい。

尚造林された方には専賣公社員がその手入状況を調査致し奨励金を差上げる事になつて居ります。奨励金は一町歩当（二、〇〇〇本植栽）に八、〇〇〇円（約年度五、〇〇〇円、翌年度三〇〇〇円）であります。

日本専賣公社根占出張所

年のはじめに

鹿屋市西俣小学校　橋口正則

○花を作り花を築しむ年配となりしか朝は鉢に水やる

○無為に來し悔はあれども白雲の悠々と行く朝の空見る

筑紫の旅

○いささかは夜汽車の疲れ残りいて朝の博多の街は歩まず

○はるけくも來つるものかな秋風の唐津の浜にひとり酒くむ

○ずたずたし數え子なりし小柳よいずこにおるか唐津の町見ゆ

○崖々につわぶきの花咲きみだれつくしの秋は深まり行くか

○陶器豊る店立ち並ぶ秋雨の有田の町をバスは走りぬ

○風雪に耐えきし五百のつらだましい九州小学校長会ここに始まる

○こも〳〵に立ちてマイクに打ち向かう各縣代表のれんたつの弁

○無限のもの持つかいいつぎ語りつぐ翅之内校長の悠々たる態度

○あなやと思う一瞬もあり一せいに鍾ひらめかし女らおどる（鍾踊り）

○きらりきらり鍾光るたびあなやと思うリズムはげし〳〵女らおどる（同）

○腹にとおる気合もろとも身をひねり小太鼓叩く佐賀の若衆（国浮立）

○男らはげしき気合女らはやさしきはやしもろともにおどる（同）

○長崎と佐賀の境の峠こゆすすきしらじら風にゆれおり

○岩松といえる駅あり雞頭のくれないの色あざやかにして

○尖塔の十字架ま白き秋晴れの長崎の街についに來にけり

○天と地のさかいはいずこ星のごと燃火きらめく長崎の街

○幼き日夢にえがきし時貞のけつきのあとぞ島原に來ぬ

○見れど見れどわれは飽かなく雲仙の紅葉青空に焔と燃ゆる

久しぶりに歌を作る

○二十余年忘れいし歌思い出すこよいひそかに盃をあぐ

○人と酒によせし情熟よ牧水と勇のあとをわれも歌わむ

新刊図書購入

公民館図書部では今回次の様な新刊書を購入いたしましたのでお知らせ致します。

蚊とハエのいない生活　あたらしい農機具の性能　賢明な親の性生活　少年期　思春期　調理科学　楽しい食事計画　栄養指導の実際　栄養生理概説　新百科辞典　現代世界人名辞典　岩波理科学辞典

製本の手引

田代時報原稿募集

一、田代時報編集部では厚く村民皆様の御投稿をお待ちして居ります。

二、内容は何んでもかまいません

三、字数は出來るだけ十五字詰一四〇行以内にして下さい。

四、締切　毎月二十日以内に公民館にお届け下さい（二十日すぎでも差支がなければ翌月号に登載致します。

五、原稿が余る場合は編集委員会で厳選して登載順を決めます。

六、原稿はお返しいたしません。